

# 井林 ばやし たつ のり 瓦版

-号外-

自由民主  
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所: 自由民主党本部  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話: 東京03(3581) 6211 (代)  
振替口座: 東京00180-1-19518  
定価1部 105円(税込)

自由民主党  
静岡県第二選挙区支部  
〒426-0037  
藤枝市青木3-13-8  
TEL 054-639-5801  
FAX 054-639-5802  
Mail office@t-ibayashi.com

《部内討議資料》

## 井林 たつ のり プロフィール

生年月日 昭和51年7月18日(34才)  
住 所 藤枝市本町  
本 籍 榛原郡川根本町(お茶農家です)  
【経歴】  
京都大学工学部、大学院工学研究科を卒業  
平成14年より国土交通省勤務  
平成22年6月4日にて  
中部地方整備局地域道路課長を退官。  
【家族】妻・長女・次女 【趣味】野球、水泳  
【好物】焼魚、白米、お茶(我家のお茶は最高です)

東日本大震災に負けない!

# 東日本大震災 ボランティア 活動報告



「いばやしブログ」配信中

<http://t-ibayashi.com/>



## 井林 たつ のり 土地家屋調査士 ご存知ですか? 一言献上! 大切な財産を守る縁の下の力持ち

東日本大震災で土地の沈下や数メートル動いたというニュースがありますよね。「地震で土地の形とかが変わったら、どうやって整理するの?」ハッ! と思って、調べてみました。

皆様の土地や建物(不動産)は非常に大切な財産ですよね? ですから、大切な財産は本人又は専門家(土地家屋調査士)がしっかりと測量し、書類を作成して、法務局(国の機関です)に登録することが義務付けられています。そして、登録された書類は、永久保存されます。

この登録は公共事業や区画整理で、土地の面積や建物に変更がある場合も行われています。

大切な事ですので、この事は国会の議論でも確認されています。皆さんの土地も土地家屋調査士さんに調べてもらってますか?

土地家屋調査士法 第六十八条  
調査士会に入会している調査士でない者(中略)は、第三条第一項第一号から第五号までに掲げる事務(中略)を行うことを業とすることができない。  
【参考 土地家屋調査士法第三条】  
一 不動産の表示に関する登記について必要な土地又は家屋に関する調査又は測量  
二 不動産の表示に関する登記の申請手続(中略)の代理(以下略)

## ポスター掲示のお願い

最近こんなポスター(右下)見かけませんか? でも、まだ足りない状況です。ぜひ1枚でも多く、たくさんの方に掲示をお願いいたします。ご協力いただける方は、事務所(054-639-5801、office@t-ibayashi.com)までご連絡くだされば設置に伺います。

## 自由民主党入党のお願い

井林 たつ のり は、党員の皆様に支えられています。党費(年4,000円)として資金的に支えて頂いたり、選挙では、応援をお願いしています。イベントや勉強会もあり、総裁選の投票も参加して頂けます。一緒に未来を創りましょう! 下記をFAX頂くか、同様の内容を電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。

FAX 054-639-5802

お名前 \_\_\_\_\_  
住所 \_\_\_\_\_  
TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_  
Mail \_\_\_\_\_



# 震災復興に全力を尽くす

一人一人が出来ることをしっかりと

## ◆被害の概要が掴めない中

3月11日夕刻、静岡県で長い揺れを感じた。そして、TVのニュースを見るうちに、東北地方を中心とする津波の惨状が伝わると、体が震えてきた。何かしなければ！

## ◆一人の国民として

次第に復旧が進み、被災地でもガソリン供給が安定し、東北自動車道も復旧した。現地では、人手不足が最大の課題になってきた。「ボランティアに行きたい！」車を飛ばし、4月11日から5日間ボランティア活動に従事した。



生々しい津波被害

## ◆節電地域の現実

東名を東へ。東電管内の節電地域に入った。夜間だが、節電で街灯が消えた暗い高速道路。東北自動車道は震災の影響で、路面の凹凸が厳しく、制限速度は50km。被災地では、自分の身は自分で守る。ハンドルを握る手も自然と緊張する。



街灯が消された東名

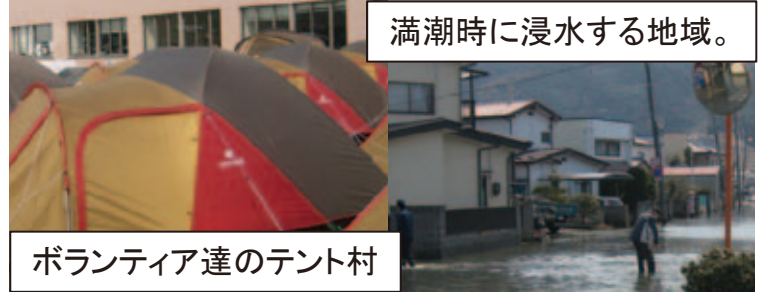


制限速度は50km。厳しい路面状況を物語る。

凹凸が厳しく、気を抜けない、東北自動車道。

## ◆ボランティアのテント村

満潮時に浸水する地域もある石巻市は、全国から来たボランティアが大学でテント生活をしながら、ボランティア活動に従事している。



満潮時に浸水する地域。

ボランティア達のテント村

## ◆被災者と心を通わせる

参加した作業は、津波で浸水した個人宅の家具・畳の搬出、泥の掻き出し。被災者は感情的・経済的に家財道具を「捨てる」気持ちになれない。

避難所の清掃活動にも従事。避難所生活一ヶ月で初の清掃。避難所の方々に感謝されつつ、「あれもこれも」と言われ作業が難航。

被災者の気持ちを理解し、心を通わせないと、トラブルになり作業が進まない。ボランティア活動は被災者と心を通わせる事が全て。

石巻市は泥掻要請が900件あるが、一日に20件程度の派遣。仙台市では要請人数を満足に派遣出来ない。深刻な人手不足。

やる事は多くあったが、短くも長い5日間のボランティア活動を終えた。震災復興に全力を尽くすことを誓って、被災地を後にした。



泥掻は重労働。ゴーグル・マスクは必須！



長引く避難生活、衛生面が課題に。

自由民主党静岡県第二選挙区支部長

井林 辰憲

※震災により、紙の流通に影響が出ています。紙質を落としての印刷、御理解ください。